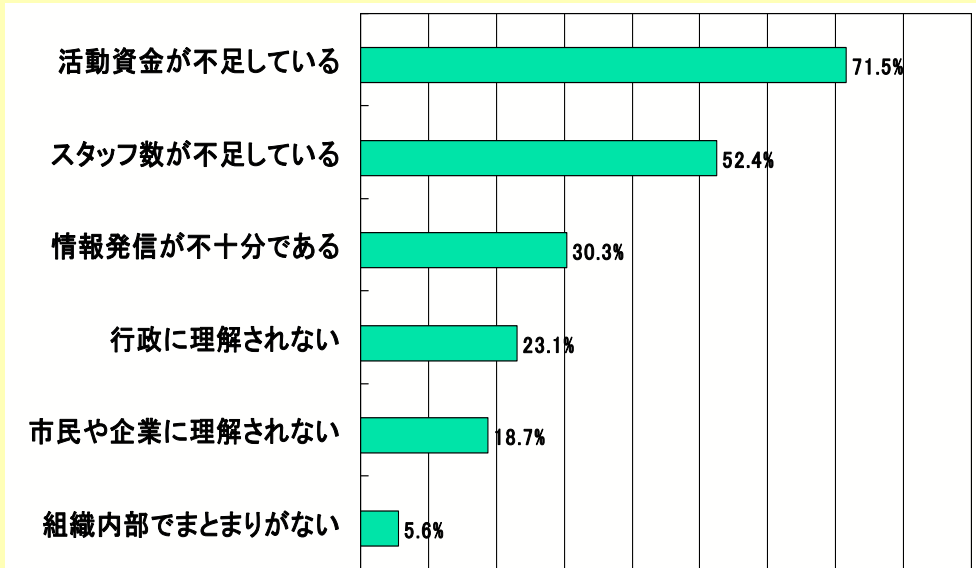


9. 活動4：都市再生の新たな担い手

担い手の抱える課題と解決に向けた取組

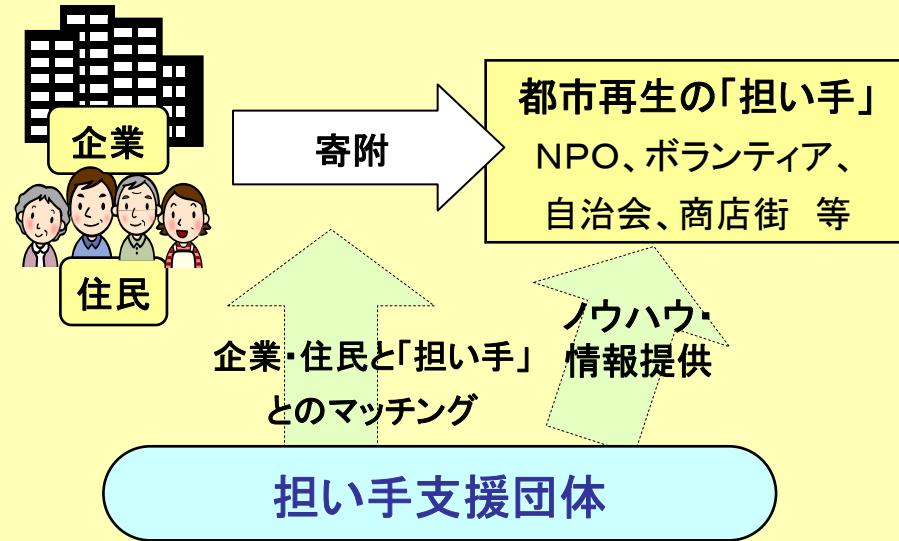
地域活動をするNPO等の都市再生の担い手は
資金・人材等の不足が課題



[N=1,010団体 複数回答]

内閣府調べ(平成17年度)

NPOやボランティアに対して、ノウハウや情報を提供したり、広報や運営についてアドバイスをする『担い手支援機関』の役割が高まっている



18年7月, 19年1月
都市再生本部決定

- 地域が自ら考え自ら行動することが重要
- 様々な担い手の力を高め、相互の連携を強化
- まちづくりの担い手の裾野を拡大、地域のまちづくりに対する支援の充実

都市再生の担い手への支援

担い手や支援団体等の連携の強化

1 担い手ネットワークの構築

都市再生・まちづくりの多様な主体間の連携強化を図ることを目的に「**担い手ネットワーク**」*を設立。

【活動内容】

- ①メーリングリストにより会員間の情報・意見交換
- ②情報・意見交換を目的とした交流会の開催

※ 担い手ネットワークの参加者

【都市再生の担い手】
ボランティア、NPO、自治会
協議会、商工会、大学等

【担い手支援団体】
行政機関、助成団体
支援企業

19年7月末時点の参加者は132名。

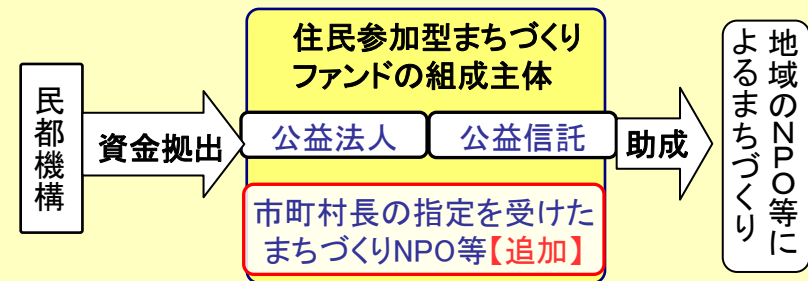
2 ポータルサイトの開設

まちづくりの活動団体とその取組、国や財団等の支援情報など、都市再生・まちづくり活動に役立つ情報や仲間が集まるサイトへのリンクを集約。

担い手の裾野の拡大、支援の充実

1 『担い手』をまちづくりの主体として位置づけ

○まちづくりファンドの組成主体に追加



○道路法の改正により、
占有許可要件を簡素化



○密集市街地の避難経路協定を制度化



2 多様な『担い手』の活動を促進

全国都市再生モデル調査、まちづくり交付金などを通じて地域のまちづくりへの支援を充実